

折尾愛真

NEWS LETTER



2011年 4月

1号 Vol. 41

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号

TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690

E-mail: info@orioaishin.ac.jp

URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 *Since 1935* (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科	看護科	商業科
特進コース	看護科	商業コース
普通コース		美容専科コース
健康福祉コース	看護専攻科	製菓衛生師コース
保育コース		
インターコース		
一貫コース		

入学式・進級式

平成23年度入学式及び進級式が4月8日(金)に行われました。340名の新入生・進級生を迎え、真新しい制服姿に緊張しながらも希望に充ちた笑顔が印象的でした。これからの学園生活が豊かに恵まれますように願います。



中学代表田中希実さん、
高校代表上城大輔さん、
専攻科代表伊東唯さん

看護科

国家試験結果

2月27日(日)に行われました、平成23年度第100回看護師国家試験の合格発表が3月25日(金)にあり、合格率95.2%と全国平均(91.8%)を大きく上回り、本年度も高い合格率でした。日頃の先生方の指導と生徒の努力が実った結果となりました。

健康福祉コース

国家試験結果

1月30日(日)に行われました平成23年度第23回介護福祉士国家試験の結果が3月31日(木)にあり、66.7%の合格率は全国平均(44.3%)を大きく上回りさらに福祉系高等学校の合格率(55.6%)と比較してもコース設置以来毎年高い合格率を誇っています。

快挙

平成23年3月 卒業生進路決定

100%達成

平成23年3月に卒業した生徒の進路状況は、4年制大学52名、短期大学55名、専門学校52名、就職46名、内部進学81名と卒業生すべてが決まり進路決定率100%を達成しました。主な進学先は次の通りです。

4年生大学	北九州市立大学、西南学院大学、久留米大学、岡山理科大学、東海大学、九州産業大学、西南女学院大学、九州女子大学、関西学院大学、関東学院大学、桃山学院大学、九州保健福祉大学、福岡女学院大学、他
短期大学	折尾愛真短期大学、福岡女学院大学短期大学部、九州女子短期大学、西南女学院大学短期大学部、東筑紫短期大学、福岡こども短期大学、大阪女子短期大学、他
専門学校	福岡看護専門学校水巻校、美萩野臨床医学専門学校、八幡医師会看護専門学校、小倉リハビリテーション学院、福岡美容専門学校、辻調理専門学校、福岡医療専門学校、他
就職	新日本製鐵株式会社八幡製鐵所・君津製鐵所、黒崎播磨セラコーポ株式会社、一井工業株式会社、日鐵運輸株式会社、石松商会株式会社、高松産業株式会社、パナソニックテレコム株式会社、誠光園、北九州病院、自衛隊、あやめの里、北九州病院、自衛隊、宗像大社、他

製菓衛生師コース

国家試験結果

2月18日(金)に行われました、平成23年度製菓衛生師国家試験の合格発表が3月21日(月)にあり、昨年に続き88.2%と高い合格率でした。今年度は、上級学校へ進学する生徒が6割を占め、さらに技術の習得を目指しています。

折尾愛真株式会社

商業の総合実践の場として2年前に立ち上げた模擬会社が、3月20日(日)折尾駅前にて「おりをろまん」の販売を開始しました。初日はPRを兼ね生徒や教諭・商連関係者ら約30人でチラシの配布や試食品を提供し、沢山の人の買い求め頂きました。売り上げは義援金としてNHKを通じて東日本大震災被害者のもとへお送りしました。



クラブ活動

一貫コース3年 宮地真知香さん

福岡国際女子テニス出場 おめでとう!

4月9日～17日まで行われた第65回九州毎日テニス選手権大会の於いて、宮地真知香さんが一般女子シングルスで優勝、渡邊夕貴さんとのダブルスでは準優勝をしました。また、宮地さんは5月1日～8日に博多の森で行われる「福岡国際女子テニス (ITF 女子サーキット賞金総額5万ドル大会)」に出場が決まりました。レベルの高い国際大会に出場できることは素晴らしいことで、日頃の練習成果が大きく表れた結果となりました。



福岡国際女子テニス大会出場決定の宮地真知香さん(右)とダブルスで準優勝の渡邊夕貴さん(左)

お知らせ

創立記念礼拝

日時:平成23年4月27日(水) 9:00~
場所:パターソンホール 4F

戴帽式

日時:平成23年5月6日(金) 10:00~
場所:パターソンホール 4F

辻調理特別授業

日時:平成23年5月31日(火) 13:15~
場所:製菓実習室

東日本大震災募金活動

3月11日午後2時46分ごろ、マグニチュード9.0の地震が東北地方太平洋沖で発生しました。折尾愛真学園では、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマの信徒への手紙12章15節)の聖書の言葉に従い、被災され、助けを必要としている方々に義援金を送ろうと、学校・学友会・生徒会を中心に募金活動をし、集めた928,303円をNHK放送局を通じて被災者の方々へお送りしました。募金にご協力いただいた皆様方に深く感謝申し上げます。

韓国の姉妹校より義援金

4月19日(火)、韓国の姉妹校同星学園(韓国・広州市)より留学中の4名の生徒が希望し本国で募金活動が行われ、集まった21万8千円を義援金として本校を通し毎日新聞西部本社社会事業団に持参しました。生徒の代表は、「私たちができるお手伝いをしたい。少しですが、是非役立ててください。」と話していました。



「折尾歴史探訪」

第20回 北浦廃寺跡 ②

折尾周辺の廃寺は北浦廃寺を含めて三ヶ寺を数えます。廃寺の理由は、戦国時代に戦火で灰燼に帰したか、住持の無事によるものか、又一つその最大の理由に考えられるのは江戸時代に入って幕府の宗教政策によって仏教は形式化され、儒教に興味を抱く学者が多く排出、排佛論が盛んとなり、特に本居宣長・平田篤胤等国学者・神道家の排出によって排佛論が燃え盛ったことによるものだと云います。特に、僧侶の職業柄、其の敷地、寺領が国家経済に及ぼす損失の多きことを理由に、寺院の整理を論ずるものが多くなってきたと云います。江戸時代で水戸藩の寺院整理は誠に厳しいものがあります。新地の寺院九九七ヶ寺を毀し、三四四ヶ寺の破壊僧侶を農民に還俗させて、寺頭は農地に換地した歴史が残っています。(和辻哲郎著日本仏教史) こうした傾向は黒田藩に於いても論外ではなかったと思います。北浦廃寺は記録によると七堂伽藍を備えた大寺だったと云います。北浦の大寺が廃寺になった理由は、黒田藩の儒者貝原益軒は必ずしも排仏論者ではなかったとも云いますが、水戸藩と同じ社会的背景が、黒田藩にもあったのではないかと考えられます。永犬丸に浄土真宗西本願寺派の善光寺と云うお寺がありますが、この廃寺を再興したものだと云います。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>